「選挙のためだけ頑張る議員」は、もういらない！

「いつも働く議員」への一期４年を振り返る

一般質問

登壇回数 11回

- 教育分野 5回
- 農業分野 5回
- 商工業分野 4回
- 地域振興分野 3回
- 高齢者福祉分野 2回
- 保育・幼児教育分野 2回

※ 重複質問を含む

各委員会

全委員会数 342回

- 農業委員会 140回
- 市政協議会 57回
- 予算特別委員会 31回
- 総務常任委員会 30回
- 議会広報広聴委員会 29回
- 議会だより編集委員会 24回
- 民生常任委員会 23回
- 決算特別委員会 16回
- 他自治体視察対応 7回

※ 本会議を除く

米沢(みらい)づくりは、人(づくり)育成！ 4年間の「あゆみ」

20年後30年後を背負う世代が
強く・優しく生けていける米沢へ！

新年、あけましておめでとうございます。みなさま方には、ご健勝にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。みなさまにご支援いただき、議員活動も残り数ヶ月となりました。これまで遮二無二に活動できた原動力は、みなさまの叱咤激励のお陰だと感じております。改めて厚く御礼申し上げます。

さて、改めて議員生活を振り返ると、前期２年間は「民生常任委員」と議会選出の「農業委員」として、そして後期２年間は「総務常任委員」の他に「議会だより編集委員会」委員長、議会基本条例に基づく新設の「議会広報広聴委員会」副委員長、また再度「農業委員」に任命され、議会活動を邁進しております。

米沢市の発展と市民一人ひとりの生活向上を最優先に活動し、それと同時に『開かれた議会づくり』にも熱を込めてきました。そのひとつが「議会報告会・意見交換会」の実施でした。市民の方々の率直な想いをより深く受け止め、市政に反映できる機会となっていること、いうまでもありません。「今の米沢市では何を目指して議論をしているのか？そしてそれを達成するためには何が問題なのか？」より深くご理解いただけたと思いますが、まだまだ発展途上であります。しかし行動に移した結果、『日本経済新聞社産業地域研究所』が全国８１３の市区議会を対象に実施した「第3回議会改革度調査」において、本市議会は、４５０位から54位と格段に飛躍することができました。山形県内では、第１位の議会改革度となっています。他自治体からの議会視察も格段に増え、私も議会代表の一人として全視察対応をしています。

議員には、選挙という戦があります。もちろん、勝つために頑張らなければなりません。しかし、最も頑張らなければならないことは、市民の負託に応えるために、常時議員として行動することだと思います。

そこで今回は、一期４年間のあゆみを紐解いてみたいと思います。全議員24名の中でも最も議会に行く回数が多い議員でした。定例会のみならず、市民のみなさまの負託に応え、責務を全うすべく、毎日のように議会に足を運んでいます。

さらに、担当させていただいている委員会数も多く、その都度、一つひとつの案件に課題がないか判断し、全ての分野において「人づくり」に軸足を置き、質問や提案を行ってきました。

子育て・教育分野での不登校・発達障がい児の支援強化、保育園・幼稚園分野での多児世帯補助の支援拡充。農業分野での寒中野菜の新ブランド化、園芸生産振興事業の拡充など、発言や提案の結果、様々なことが形となって反映されています。その形となった歩みの一部を裏面でご紹介します。

光士新聞

相田みつてる市政報告だより

平成27年新春版
発行者：相田光照
米沢市塩井町塩野1670番地
Tel&Fax：0238-21-4185・090-9637-1834
光士新聞：http://yahoo.jp/box/LQjn2z
FB：https://www.facebook.com/koshikai

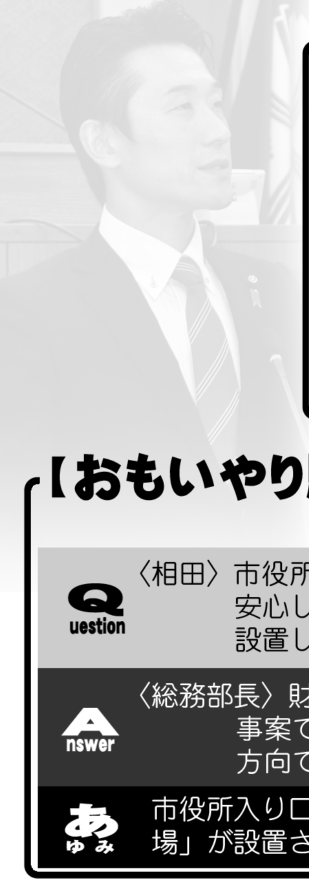
将来世代が強く優しく生きていける米沢市へ

光士新聞
相田光照市政報告書

facebook QRコード
相田光照　検索

インターネットからも活動報告が見られます！

「紙面以外でも活動の様子が見てみたい」という要望がありましたもので市政報告書『光士新聞』のバックナンバーと『フェースブック』で日々の活動を掲載いたしております。閲覧方法は、インターネット『相田光照』を探していただくと、簡単に日々の活動をご覧頂けます。是非、ご活用していただき、活動の様子をご覧ください！



【オストメイト用トイレの設置について】平成24年3月 予算委員会にて

Question
〈相田〉市内各所に『障がい者用トイレ』があるが、多くの自治体においては『オストメイト用トイレ』完備している。米沢では、民間の大型店でようやく設置されているが、公共施設ではまだまだ少ない。
どのような障がいを持った方でも来市してもらえるよう新設される人工芝サッカーフィールドにオストメイト用トイレを設置してはどうか？ ※オストメイト：癌や事故などにより消化管や尿管が損なわれたため、腹部などに排泄のための開口部（人工肛門・人工膀胱））を造設した人

Answer
〈教育管理部長〉市内にも多くのオストメイトの方もいることから、前向きに検討いたします。
〈企画調整部長〉市民の方々からも、米沢市人工芝サッカーフィールドにトイレの増設要望を受けていることから、オストメイト用を完備したトイレを設置します。

あゆみ
人工芝サッカーフィールド内トイレに完備。その後新設されるトイレには、オストメイト用トイレを設備。

【おもいやり駐車場設置について】
平成24年6月 一般質問にて

Question
〈相田〉市役所に来る高齢者や妊婦が、安心して止められる駐車場を設置してはどうか？

Answer
〈総務部長〉財政課でも検討している事案であるので、設置のする方向で考えております。

あゆみ
市役所入り口前に、障がい者用駐車場の他に「おもいやり駐車場」が設置される。

【寒中野菜の新ブランド化について】
平成25年3月 一般質問にて

Question
〈相田〉寒中野菜を冬季農業の「米沢ブランド」化すべく、広報「よねざわ」で特集をしてはどうか？
また、市単独補助事業の『園芸生産振興事業』にねぎ・キャベツ・白菜を追加してはどうか？

Answer
〈企画調整部長〉若手農業就労者の活動の特集を組んで、市民の皆様に周知いたします。
〈産業部長〉米沢市としても新ブランド化に向けて行きたいと思っています。前向きに検討します。

あゆみ
広報「よねざわ」（2014年2月1日号）にて特集。その後、テレビ新聞等でも取材殺到。この号市報は、全国コンクール出場！
平成26年度より『園芸生産振興事業』に寒中ねぎ・キャベツ・白菜が、補助品目として追加決定。

【教育支援センター設立について】
平成25年6月 一般質問にて

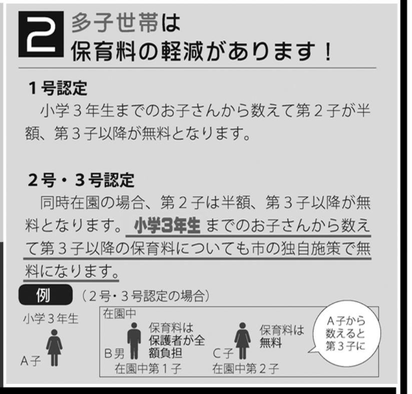
Question
〈相田〉米沢市で不登校児・発達障がい児が増加している。現在事業を組み担当しているガイダンス教室を設置条例化して『米沢市教育支援センター』を設立すべきと考えている。指導員を継続雇用し専門性が高い指導員を育成できることと、相談窓口として一本化が図れる点があるが、教育委員会はどのように考えているか？

Answer
〈教育長〉米ガイダンス教室の果たす役割は、大きいものがあると捉えているので、財政措置や他の部課との連携等を検討していきます。
〈健康福祉部長〉教育委員会と濃厚な連携を築きながら福祉の政策を進めていかなければならないと考えています。

あゆみ
平成26年度予算おいて、4,300 万円の予算を獲得。継続雇用ができ得る新規採用18名を指導員として雇用。現在も継続事業に。

【第3子以降の保育園・幼稚園完全無料化について】
平成26年9月 一般質問にて

Question
〈相田〉人口減少が進む米沢市において、子育て支援をしていく必要は大いにある。その目玉として、第3子以降の幼稚園・保育園費を完全無料化してみてはどうか？


2 多子世帯は保育料の軽減があります！

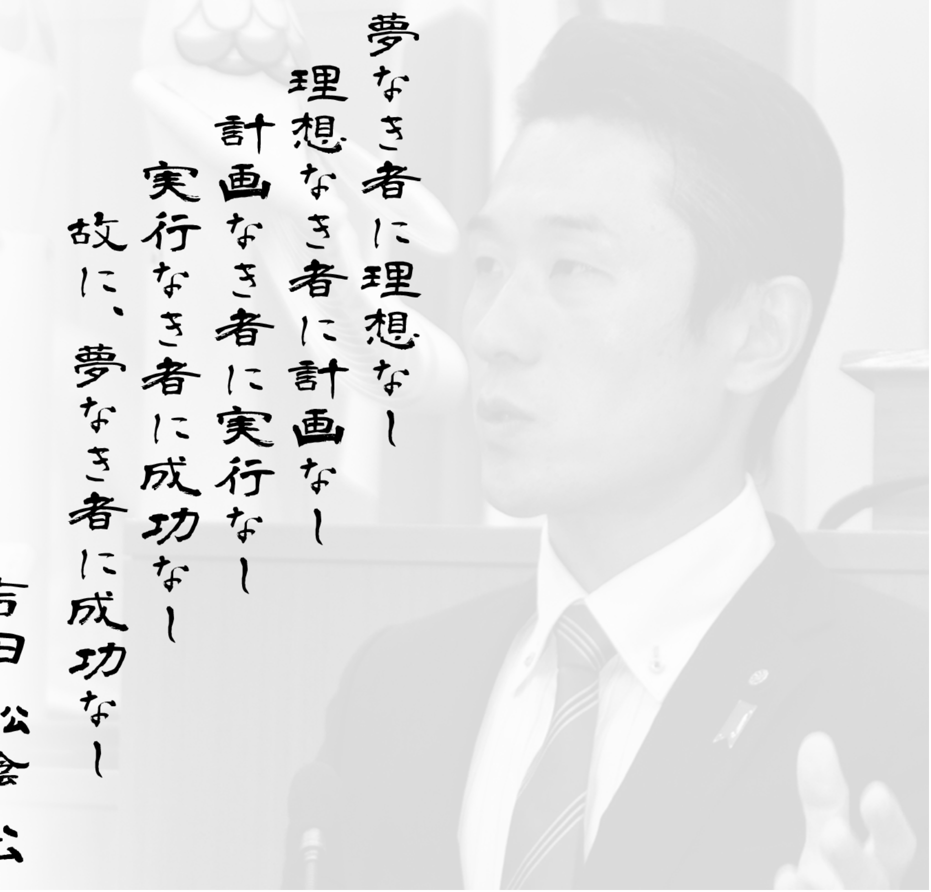
1号認定
小学３年生までのお子さんから数えて第２子が半額、第３子以降が無料となります。

2号・3号認定
同時在園の場合、第２子は半額、第３子以降が無料となります。**小学3年生**までのお子さんから数えて第３子以降の保育料についても市の独自施策で無料になります。

例（2号・3号認定の場合）

Answer
〈健康福祉部長〉第３子以降の完全無料化は、財政的に厳しいが、補助範囲を３年拡大します。

あゆみ
幼稚園：長子が小学校３年生から小学校６年生
保育園：長子が年長から小学校３年生へ



夢なき者に理想なし
理想なき者に計画なし
計画なき者に実行なし
実行なき者に成功なし
故に、夢なき者に成功なし

吉田松陰 公

「2期目への決意」

熱思爽颯
2015.02.11

▼多くのみなさまに当選させていただいた4年間を振り返ると、遮二無二に走ってきたという思いでいっぱいであります。▼そこで感じたことは、「政治は力のみならず」ということでした。最終的に必要なことは、『人情(ひと)』であるということだと思っています。情(じょう)とは、情けをかけることではなく、どんな人にも同じ目線で話を聞き、どんな人にも同じように行動していくことです。▼私の名前は『光照』と書きます。この名には、「光を照らす人間に」との思いが込められています。しかし、「自らが光を発する人間なのか？」と問えば、まだそのような人間にはなっていないと思います。光を照らすだけの灯火も小さく、まだまだ未熟者だと感じています。▼しかし、光を照らすためには、自らが発光しなくてもでき得る方法があります。それは、自分が鏡となり、周囲の人々の光を受け取り、照らすことです。これが、先に述べた『人情(ひと)』であると、私は考えています。▼この4年間、多くの人の話しに耳を傾け、思いを受け取り、行動に移してきました。みなさまの想いや意見こそが『光』であります。それを自分の中でしっかりと噛み砕き、自分の物として実行していくことが、光を照らすことになるはずです。より多くの光という『想い』や『意見』を受け取るためには、常に自分の鏡を磨き続ける必要があり、鏡そのものも大きな物にしていかなければなりません。▼今日の社会は、大きな変貌を遂げています。そして、米沢市も財政難という大きな危機的状況の中にあります。これから、私たち議員がしていくべきことは、幾多の先輩が築いてきたこの故郷を、希望の持てる魅力あるまちにしていくことです。その先頭に立ち米沢市を明るい場所に導くために、努力は人を裏切らない」の格言どおり、日々努力し成長し続ける議員になっていきます。▼そして、この米沢市を20年後30年後背負う世代が「強く」、そして「優しく」生きていけるよう、自らの責任をしっかり自覚し、みなさまと共に力を合わせ、知恵を出し合い、２期目へ向けてしっかりと頑張って進んで参りますので、今後とも変わらぬご支援・ご推薦のほど、よろしくお願い申し上げます。「夢なき者に成功なし。夢ある者に成功あり！」